

平成30年の綾部市政

広報紙で振り返る——寺

（1248年）

ACHII



「排水ポンプ車を配備」

3月、集中豪雨等による浸水被害の軽減に向け、初めて排水ポンプ車を配備しました。写真④。

「手話・コミュニケーション条例を施行」

4月、府内で初めて「手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例」を施行。障害のある人に寄り添う取り組みを行っています。

「北部産業創造センターがオープン」

4月、市と府、京都工芸繊維大学、グンゼと共同で整備した北部産業創造センターが供用を開始。産学公連携拠点として活用しています。写真⑤。

「綾部中、八田中で給食始まり」

5月、綾部、八田中学校で学校給食が開始。府内の市では唯一、全小・中学校で自校調理方式を採用しています。写真⑥。

「市役所窓口に卓上型対話支援装置を設置」

6月、声が聞き取りやすくなる、卓上型対話支援装置を市役所窓口にて7台設置しました。写真⑦。

「志賀郷公民館がリニューアル」

6月、改修した志賀郷公民館（志賀郷町）の竣工式を実施。地域の拠点として活用されています。写真⑧。

「平成30年7月豪雨」

7月、平成30年7月豪雨により、家屋の損壊や床上・床下浸水、道路の寸断など市内各地で甚大な被害を受けました。写真⑨。

「京都産業大学「綾むすび館」がオープン」

10月、里山交流研修センター（鍛冶屋町）が京都産業大学の交流拠点「綾むすび館」として位置づけられました。写真⑩。

「国宝光明寺二王門の修復工事終わる」

11月、平成28年から行われていた国宝光明寺二王門の修復が完了。往時の姿が色鮮やかに蘇りました。写真⑪。

「NET119緊急通報システム」

11月、聴覚や言語に障害のある人が、スマートフォンなどの画面操作で119番通報できるシステムの運用を開始しました。

「その他の出来事」

2月市立病院に骨粗しょう症外来を開設▽山崎善也市長3期目に▽セブンイレブン・ヒツジ3頭8月中東和平プロジェクト2018のメンバーが来綾▽全国茶品評会かぶせ茶の部で2年連続の産地賞▽市議会議員18人決まる9月各公民館に土のうステーションを設置▽写真⑫。▽市消防団が内閣総理大臣表彰11月物部保育園の改修工事終わる▽綾部警察署と安全・安心のまちづくりに係る協定を締結12月あやバスの乗客が通算300万人を突破

平成31年 年頭のごあいさつ

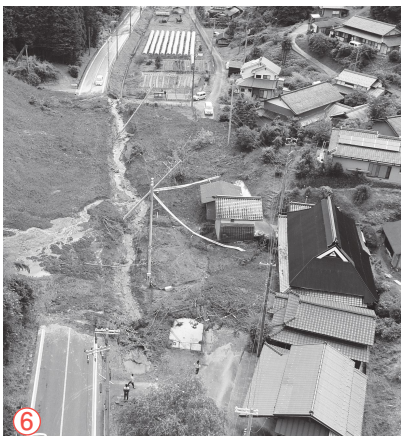
綾部市長

小南 善也



新年明けましておめでとうございます。すがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、豪雨や台風、酷暑など天災に苛まれる一年でした。とりわけ七月豪雨では、三人の尊い命が奪われ、住宅や道路、農地等に過去最大規模の被害を受けました。被害を受けた方々に改めてお見舞い申し上げるとともに、復旧と対策を最優先に取り組んでいますので、皆様のご理解をお願いいたします。



さて、三期目となる綾部市政の信託をいただいたから、早くも一年が経とうとしています。昨年は、ものづくり企業の研究・開発を支援する北部産業創造センターが竣工したほか、市内全小・中学校での完全給食の実現、老朽化していた国宝光明寺二王門や、部保育園の改修などにより、産業振興や教育、子育て環境の充実を図ることができました。また、内水処理対策として新たに排水ポンプ車を導入するとともに、雨水ポンプ場の設計に着手するなど、安全・

安心して向けた取り組みも加速させました。さらに、四月に施行した「手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例」に基づき、NET119緊急通報口への卓上型対話支援装置の設置など、市民一人ひとりの顔が見える小さなまちだからこそできる、市民に寄り添うきめ細やかな施策の推進にも努めたところです。

今年（仮称）新市民センターが完成を迎える待望の年でもあります。本市において

は、相次ぐ災害等により当面は緊縮財政へと舵を切らざるを得ない厳しい状況に直面していますが、京阪神からほど近く交通網の結節点である地の利を生かし、都市住民の田园回帰志向を追い風に、移住・定住施策を推進し、ふるさと綾部の明るい未来を切り拓いてまいりますので、市民の皆様の変わりぬぐご支援とご協力をお願い申し上げます。

この一年の皆様のご多幸・ご健勝と国内外の平和と安寧をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。